

アナジャコ類はエビに似ています。しかし、エビと異なり第1脚が不完全なハサミの種がほとんどです（希に完全なハサミが無い）。また、第2～第4脚にハサミがありません。アナジャコ属はハサミの不動指が不完全で、頭部の背面の両側に隆起線があります。

高知県の内湾には本種とコブシアナジャコが生息しますが、本種が圧倒的に多いようです。本種は全長5 cm程度になるとされていますが、浦戸湾にはこれより大きな個体があります。



2004年2月11日に須崎湾で採集したマゴコロガイが付着したヨコヤアナジャコ。

アナジャコ類の腹面にカワホトトギス科の二枚貝，マゴコロガイ *Peregrinamor oshimai* が付着し、共生することが知られています。

共生とはいえ、アナジャコ類の体の割には大きな貝です。貝は足糸でしっかりと付着しています。

浦ノ内湾と須崎湾では両種の共生を多数確認しましたが、浦戸湾での私の確認例はまだありません。アナジャコ類は日本に広く分布しますが、共生が見られる場所はきわめてわずかです。



2004年5月3日に浦ノ内湾で採集したマゴコロガイが付着したヨコヤアナジャコ。

2004年10月13日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）をお願いします。